

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成23年6月30日

施設名	春野総合運動公園	所管課	土木部公園下水道課
-----	----------	-----	-----------

## 1 施設の概要

指定管理者名	財団法人 高知県スポーツ振興財団	指定期間	平成21年4月1日 ~ 平成26年3月31日
施設所在地	高知市春野町芳原		
事業内容	1, 施設の運営に関する業務 ・施設及び設備の利用に関する業務 ・施設等の利用料金の徴収等 2, 施設等の維持管理に関する業務 ・運動施設管理業務 ・植栽管理業務 ・施設等保守管理業務 ・清掃業務 ・警備業務 3, 公園全般に係るその他の業務 ・利用案内、関係機関等との連携・協力、要望・苦情処理、緊急事態の対応		
施設内容	○面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 公園面積59.7ha、供用日：1月4日から12月28日、供用時間：8:30～17:00 運動施設(野球場：20,900㎡・収容人員16,000人、陸上競技場：400mトラック・収容人員25,000人等) 遊戯施設(ちびっこ広場、散策道、展望台) 便益施設(管理事務所、駐車場、トイレ、シャワー) その他の施設(宿泊施設、飲食店、売店)		
職員体制	職員：2人 定期職員：23人 短期職員：6人 合計：31人		

## 2 収支の状況

単位：円

		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(予算)
収入	県支出金	198,403,000	198,403,000	198,003,000
	使用料・手数料	66,182,380	63,611,690	68,800,000
	その他	1,771,825	3,920,660	3,000,000
	収入計 (a)	266,357,205	265,935,350	269,803,000
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	181,448,513	189,949,645	194,564,000
	人件費	82,697,635	75,449,714	75,239,000
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	264,146,148	265,399,359	269,803,000

### 3 利用状況

	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	445,016	427,741	450,000
②利用者意見等の反映	<p>○利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 水泳場において、アンケート調査を実施(通年・アンケート用紙に記入)。調査結果等:水泳場では、水球練習のための仕切りネット設置要望を受け、職員が仕切りネットを設置した。また、多目的広場では通行に便利な開門式扉設置要望を受け職員が開門式扉を設置した。 要望の多いテニスコート、トレーニングルームの正月営業を実施。</p> <p>○その他 ・要望を受け、飛び込みの夜間練習のために、照明器具を設置した。 ・要望を受け、パークゴルフのグリーンの整備及びコース変更を行った。 ・犬の糞の後始末をしない来園者に対する苦情に対応し、職員が朝、夕の收拾見回りを実施した。</p>		
③その他特記事項	<p>スポーツキャンプやイベントの誘致協力に努めており、観光コンベンション協会との連携も図られている。 利用調整会議等の機会をとらえ、要望聞き取りなどニーズの把握に努めている。そういったニーズをとらえて自主事業を実施している。 新燃岳噴火等によるキャンプの緊急依頼にも柔軟に対応している。</p>		

### 4 平成22年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	<p>協定書、仕様書及び事業計画に基づく適正な運営管理が実施されている。グラウンド管理は例年どおりキャンプ各チームから高評価を得ている。 修繕は、金額で計画を若干下回るものの体育館放送設備修繕等適正に対処していた。 利用者の声、施設、機器類の使用状況、観客動向、及び全施設の管理状況の情報が一元管理されているとともに必要な情報は県に随時提供されている。</p>
②利用者サービスの維持向上	<p>プロキャンプの状況や各チームの要望等を積極的に把握している。 各チームの希望する硬さでグラウンドコンディションを迅速に調整している。 施設の改善、正月営業等により、利用者サービスの向上を図った。 好評だった自主事業は、継続し、さらに新たな自主事業を展開した。 広場Cへ外野フェンスを設置。 補助陸上競技場、多目的広場へオーバーシード施工。 広場A北内野グラウンド改修工事。 パークゴルフ場コース変更。 飛び込みプール底面塗装工事。 プロ野球キャンプ前にピッチングマシンを調整。 体育館床保護用フロアシート購入。</p>
③利用実績	<p>利用人数は減少。2月までの利用者数は、おおむね前年度並みに推移するものの3月は減少。主な要因は、東日本大震災による自粛が影響しているものと思われる。 人気のある競技種目の利用人数は増加している。 キャンプの評価は高く、来年度以降も春野で実施したいという声が多い。</p>
④収支の状況	<p>利用料収入は減ったものの、管理費の圧縮等により黒字が図られた。 利用料金比率は25%。人件費比率は28%。外部委託費比率は34%。利用者当たりの管理コストは598円。ほぼ計画どおりに行われている。</p>
総合評価	<p>協定書及び事業計画に基づき管理運営業務が実施されるとともに、利用促進のためのサービス向上にも取り組んでおり、適正な管理運営がされたと認められる。 指定管理2年目で運営ノウハウが蓄積されてきており、それが優れた管理運営に繋がっている。 A 様々な課題や苦情への対応及び積極的な職員の研修参加により、さらに運営ノウハウを積み上げている。その積み上げたノウハウを次年度以降の利用者増などへ反映させていくことが期待できる。</p>

【評価の目安】

- A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの  
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの  
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの